

赤外線サーモグラフィー法による床版調査 赤外線照明を用いた路面性状測定システム (Kei-Doc2.0)

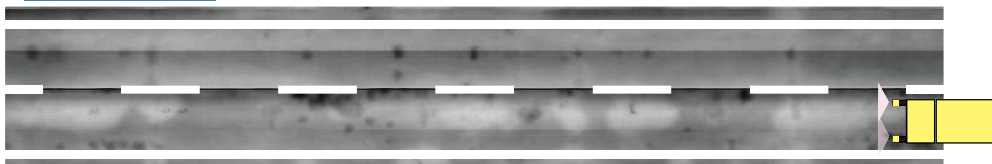
最高速度 100km/h で床版・路面の調査や測定が可能

測定・点検

■赤外線サーモグラフィー法による床版調査

- ・ 1 車線 / 1 回の走行で床版の状況を赤外線カメラで撮影（最大測定幅 3.6m）
- ・ 通常走行で床版上面の変状面積を推測し、健全性を評価することが可能

赤外線撮影画像



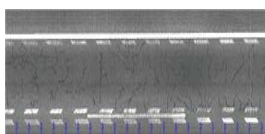
【白もしくは黒く映っている箇所が変状の疑いあり】



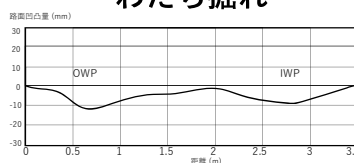
■赤外線照明を用いた路面性状測定システム

- ・ 路面性状データ（ひび割れ・わだち掘れ・IRI・位置情報）を同時に測定
- ・ 最大測定幅員は 6 m 程度 本線車線だけでなくランプ車線についても測定可能
- ・ 測定用照明やレーザーは、一般車両の走行を阻害しない不可視光線を採用

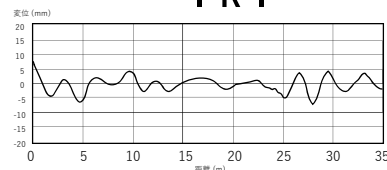
・ ひび割れ



・ わだち掘れ



・ I R I



製品一覧

西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

みち、ひと…未来へ。



